

事業の概要

静岡市選挙管理委員会

TEL : 054-221-1138

【実施背景】

- 静岡市では、「発達段階に応じた主権者教育」に取り組むため、中学高校には、生徒会選挙などへの選挙用資器材の貸出し、高校生には、出前講座の実施と市内の高校3年生全員に選挙や投票の啓発パンフレット「選挙のトリセツ」の配布を行っていました。しかし、各事業は教育委員会や学校と組織的に連携して実施しているものではなく、子どもの発達段階に合わせた主権者教育が実施されているとはいえない状況だった。

令和5年度執行の統一地方選挙の投票率が政令市移行後最低で、市民意識調査で「投票率向上には主権者教育が重要である」との意見が多いことから、令和6年度から、教育委員会と組織的に連携し、子どもの発達に合わせ、段階的な主権者教育を実施することにした。

【事業内容】

- 各年齢に応じた段階的な主権者教育の実施
 - ① 未就学児～小学生 「動物総選挙」
 - ② 小学6年生 「SDGs給食選挙」
 - ③ 中学3年生 「新時代の選択選挙」
 - ④ 高校生 選挙事務従事
 - ⑤ 専門学校生 投票率向上のための投票所
フォトスポットデザイン提案

※本委託での実施は①③⑤が対象

【事業実績】

- 事業費 648千円



動物総選挙



新時代の選択選挙



投票率向上のためのフォト
スポットデザイン提案WS

事業の効果、今後の展開など

- ①から⑤全ての事業がメディアに取り上げられ、反響が大きかった。①は市議会議員選挙の前ということもあり、親子で投票する人が多く、民放4社ニュース番組内で各5分程度の取り上げのほか新聞3社の取材があった。さらに地元大学生ともコラボできたことで、大学生の社会参画意識向上にもつながった。日本平動物園の集客効果もあったことから、2年後の統一地方選にあわせて再度実施したいといわれている。また、専門学校生のワークショップは静岡新聞終面1面で特集された。今年度、教育委員会・専門学校・大学・市の施設などと連携し、年代ごとに切れ間なく主権者教育を実施できたことから、来年度以降も各組織と連携し、継続して主権者教育を実施予定。